

**LifeKeeper for Linux v9.2.2 /
Single Server Protection for Linux v9.2.2**
テクニカルアップデートインフォメーション

第2版



サイオステクノロジー株式会社

目次

1.	はじめに	4
2.	LifeKeeper for Linux v9.2.2 の新機能・機能変更	4
3.	LifeKeeper for Linux v9.2.2 の新規サポート OS・ソフトウェア	4
4.	Single Server Protection v9.2.2 の新機能・機能変更	5
5.	Single Server Protection v9.2.2 の新規サポート OS・ソフトウェア	5
6.	お問い合わせ	6
7.	免責事項	6
8.	著作権	6

改訂履歴

日付	バージョン	変更情報
2018/3/19	001	新規作成
2018/4/26	002	<ul style="list-style-type: none">・ AWS Inter-Region Virtual Private Cloud (VPC) Peering サポートを追加・ EDB Postgres Advanced Server 10.0 サポートを追加

1. はじめに

本文書では LifeKeeper for Linux v9.2.2 / Single Server Protection for Linux v9.2.2 での新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

2. LifeKeeper for Linux v9.2.2 の新機能・機能変更

- AWS Inter-Region Virtual Private Cloud (VPC) Peering をサポートしました。
従来 Cross Region 構成を組むためには、Openswan Recovery Kit による環境構築が必要でしたが、本機能をサポートしたことで、Openswan の環境構築は不要となり、AWS の環境設定により Cross Region 構成を容易に実現できるようになりました。
- 下記の Recovery Kit が、AWS の IAM ロールに対応しました。
 - Recovery Kit for EC2
 - Route53 Recovery Kit※ 旧バージョンで上記 Recovery Kit をご利用の環境から、製品をアップグレードする場合は、IAM ロールへの対応が必要となります。製品同梱の移行ツールをご利用ください。
- DataKeeper for Linux が保護対象ディスクを識別する方法として、GUID Partition Table (GPT) をサポートしました。
 - ※ Linux kernel 2.6.27 以前の場合、サポートされるディスクは SCSI ハードディスクと Xen 仮想ディスク(xvd)です。

3. LifeKeeper for Linux v9.2.2 の新規サポート OS・ソフトウェア

新規にサポートされた OS、ソフトウェアは以下の通りです。

[サポート OS の追加]

- 新規にサポートされた OS はありません

[サポート対象ソフトウェアの追加]

- PostgreSQL 10
- EDB Postgres Advanced Server 10.0

4. Single Server Protection v9.2.2 の新機能・機能変更

新機能や機能変更はありません。

5. Single Server Protection v9.2.2 の新規サポート OS・ソフトウェア

新規にサポートされた OS、ソフトウェアは以下の通りです。

[サポート OS の追加]

- 新規にサポートされた OS はありません

[サポート対象ソフトウェアの追加]

- PostgreSQL 10
- EDB Postgres Advanced Server 10.0

6. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。なお、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切な窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

7. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証をするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

8. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。